

News Letter

2020年

7月

中国四国農政局
岡山県拠点

岡山からマッシュルームを全国へ ～新型コロナ対策の中での売上げ増加を実現～

株式会社三蔵農林創業者がアメリカでマッシュルームに出会い、1963年頃から瀬戸内町で栽培に着手した。当時、日本では設備等もなく堆肥づくりから植菌・栽培と手探りの中で地元の人々と栽培に取り組んだ結果、周期的な栽培が可能となった。そして、1974年に大規模農場を開設し、主に輸出向け缶詰加工用マッシュルームの出荷を始めたのが原点である。その後、マッシュルームの本場ヨーロッパから栽培技術や最先端設備等を導入し、現在、ハウス60棟、年間出荷量2,300トンとなり国内市場出荷量は第1位である。また、2019年10月、更なる事業領域の拡大や成長スピードの加速を目指すため、株式会社雪国まいたけ100%の子会社となった。



農場の全景



収穫作業

ミツクラ農林では、菌床の培地づくりからパック詰めまで自社農場にて一貫生産を行っており、藁を原料に培地をつくり、植菌・培養を行っている。ハウス内の温度・湿度の管理を徹底し、収穫するまで約2ヶ月、ひとつの培地から2～3回収穫ができる。収穫はすべて手摘みで地元のパート従業員が活躍している。全体の80%以上を女性従業員が占めていて、自由に出勤ができる勤務形態で、働き方改革で今でこそ脚光を浴びているワーク・ライフ・バランスに20年も前から取り組んでいる。

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び対策】

出荷の約3割を占めていた業務用(外食、加工、学校給食等)の受注がなくなり、業務用出荷ができなくなったが、ミツクラ農林では、コロナ対策として早期から県内外のスーパー等の量販店に販売先を確保するとともに、手頃で使いやすい少量パック(70g)の開発生産に取り組むこととした。その結果、この新アイテムが消費者に受け入れられ量販店での販売数量が増加し、全体売上げは前年度より伸びる結果となった。



新アイテム

新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、従業員には健康管理(体温測定・消毒)、作業場ではハウス内の消毒、管理日誌により従業員の作業の追跡が可能となるよう管理を徹底した。小学校等が臨時休校となった従業員には、新たな特別有給休暇制度を新設するなど、政府助成の措置前から先駆的に取り組み、従業員約60名が活用した。また、その際オペレーションを変更し、出勤している従業員同士で協力し、収穫作業に対応した。(写真提供:株式会社三蔵農林)



黒田生産部長

【今後の展望】

ミツクラ農林・黒田生産部長は、『日々、マッシュルームづくりに熱い情熱を注ぎ、まだ「マッシュルーム」を知らない多くのひとたちに「マッシュルーム」の魅力とおいしさを伝え、食を通じて日本中のひとびとの「健康」と「笑顔」にささやかながら貢献したいと思いません。』と語ってくれました。

ディスカバー農山漁村(むら)の宝(第7回選定)

優良事例の募集開始！

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国へ発信するものです。

このため、他の地域の参考となるような優れた地域活性化の取組を募集します。

なお、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」については、以下のURLで御覧になれます。

【特設Webサイト】

<https://www.discovermuranotakara.com/>

応募期間

令和2年7月1日(水)から令和2年9月4日(金)まで

応募方法

下記ページ内の応募フォームに必要事項を入力いただき、応募用紙(Wordファイル)を添付のうえ御応募ください。

【応募ページ】

<https://www.discovermuranotakara.com/sentei/>



※応募は「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」のホームページで受け付けています。
※応募の件数、応募方法はホームページで確認ください。
「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」HP
<https://www.discovermuranotakara.com>



経営継続補助金

○ **目的** 新型コロナウイルス感染症の影響を克服するため、**感染拡大防止対策**を行いつつ、**販路の回復・開拓**、**生産・販売方法の確立・転換**などの経営継続に向けた農業者の取組を支援します。

○ **対象者** **農林漁業者(個人・法人)**
※常時従業員が20人以下
※支援機関の支援を受けることが必要です。

○ **補助上限額** ・**単独申請** **150万円**
・**グループ(共同)申請** **1,500万円** ※単独申請×人数



詳しくは農林水産省HPをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/keizoku.html>

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集:中国四国農政局 岡山県拠点

〒700-0927 岡山市北区西古松2丁目6-18 西古松合同庁舎3階

TEL(086)899-8610 FAX(086)899-8611 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>